

コロナ禍 年収400万円未満の世帯

年間42万円の赤字

コロナ禍で低所得世帯ほど家計は赤字に。日本生活協同組合連合会（日本生協連）が発表した2020年「家計・くらしの調査」結果から、こんな実態が明らかになりました。

生協連調査

調査は全国の組合員を対象に毎年行っているもの。2020年の収入や支出などの家計状況について聞きました。有効回答数は749件。

世帯年収400万円未満

一方、世帯年収600万円

は年間42万6786円の赤字に。赤字額は前年から3万4806円増えました。

また、世帯年収600万円未満は年間24万1260円の赤字でしたが、赤字額は前年から2万6955円減りました。

消費税が圧迫

円以上は黒字となり、全世帯では77万8006円の黒字に。黒字額は前年より約2万3182円増えました。

同時に行った「消費税しらべ」では、消費税の月額負担は平均2万3696円となり、前年から2181円増えました。

世帯年収別に収入に占める消費税の負担率も調べました。世帯年収400万円未満は5・79%、600万円未満は4・72%、1000万円以上は2・94%に。低所得世帯ほど負担が重く、消費税が家計を圧迫していることが示されました。